

日付：2018年6月3日		クラス：T5クラス	教科書：みんなの日本語	担当：たのすけ
学習項目：①<テ形>、<テ形>、～、②<テ形>～、③～は～が～、④<イ A>くて、～、<ナ A/N>で～、		目標：日常生活の行動を順を追って話せる。人や物、場所などについて簡単な描写説明ができる。		
時間	項目	活動・板書	教材	留意点
9:30	挨拶	T：おはようございます。		
9:30	ウォーミングアップ	・天気の話など		
9:32	宿題の回収・返却			
9:35	導入	<p>練習 A 1 の導入「Vて、Vて、(それから) Vます」</p> <p>T：朝起きます。シャワーを浴びます。ご飯を食べます。学校へ行きます。 シャワーを浴びて、ご飯を食べて、学校へ行きます。</p> <p>T：先週の曜日、デパートへ行きました。映画を見ました。レストランで食事しました。 先週の日曜日、デパートへ行って、映画を見て、レストランで食事しました。</p> <p>=====</p> <p>シャワーをあびて、ご飯を食べて、学校へ行きます。 先週の日曜日、デパートへ行って、映画を見て、レストランで食事しました。</p> <p>=====</p> <p>T：リピートしてください。 S：(例文をリピート)</p>	テ形を使って、出来事などを順番に並べる。(順次動作)	
9:40	練習	練習 B 1		例文をリピートさせる
9:42		練習 B 2		
9:43		練習 C 1		

コメントの追加 [u1]: 学校で決まりがあるかもしれませんが、授業時間内に宿題の回収をすると、それだけで時間がかかってしまいます。授業開始までに教卓の上に置いてもらうなどすると、無駄な時間がなくなります。宿題の返却も授業時間内になると、間違えた場所はあるかな?と気になってしまうので、休み時間前や授業の最後に返却するなどにしてもいいかもしれません。

コメントの追加 [u2]: 導入や練習も①や②と番号をつけておいて、途中で教案を見たときに、次はどこをすればいいのか、わかりやすいです。

コメントの追加 [u4]: いきなり「朝起きます」と導入を始めるよりは、「私は朝6時に起きます」とした方が、具体性あってイメージしやすいです。

この文型は学習者を巻き込んだ導入ができるので、ぜひ学習者に質問しながら導入もおすすめです。

(例) T：Sさんは、朝何時に起きますか?
S：7時に起きます。
T：それから、何をしますか。
S：朝ごはんを食べます。
T：それから何をしますか。
S：日本語を勉強します。
T：Sさんは朝7時に起きて、朝ごはんを食べて、それから日本語を勉強します。

学習者のことを例文にすると、ぐっと身近な導入文になり、わかりやすくなります。

コメントの追加 [u11]: この文型で「～て、～て、」でつなげるのは3つぐらいまでがいいです。

コメントの追加 [u5]: 板書ルールはありますか? もしなければ、板書ルールを決めておくといいです。詳しくはこちら》<https://tanosuke.com/board-writing>

コメントの追加 [u3]: 自分のことを話す練習を取り入れてもいいと思います。

(例) 昨日、何をしましたか?
先週、何をしましたか?

9:50	導入	<p>「<場所>までどうやって行きますか。・・・ Vて、Vます。」の導入</p> <p>T: 渋谷まで行きたいですか。 S: はい、行きたいです。 T: 渋谷まで電車でいきますか。地下鉄で行きますか。渋谷までどうやって行きますか。 電車に乗って、渋谷駅で降ります。</p> <p>T: 東京タワーまで行きたいです。東京タワーまでどうやって行きますか。 地下鉄に乗って、赤羽橋駅で降ります。</p> <p>=====</p> <p>しゅぶやまでどうやって行きますか。 電車によって、しゅぶやえきでおります。</p> <p>東京タワーまでどうやって行きますか。 ちかてつにのって、あかばねばしえきでおります。</p> <p>=====</p> <p>T: リピートしてください。 S: 例文をリピート</p>		
9:55		<p>練習</p> <p>_____までどうやって行きますか。 ・家から学校 ・新宿駅</p>		例文をリピートさせる
10:00		<p>練習 A2 の導入「Vてから、Vます」</p> <p>T: みなさんは、再来年の3月に学校が終わります。それから、何をしますか。 S: 日本の大学で勉強します。 T: Sさんは学校が終わってから、日本の大学で勉強します。 T: 今日学校が終わります。何をしますか。 S: 日本語を勉強します。 T: 学校が終わってから、日本語を勉強します。</p>		

コメントの追加 [u6]: 「どうやって」は道順や手順など、わからないことを尋ねるときに使います。なので、「わからないから教えてほしい」という状況を設定したほうが良いです。

学生に尋ねるよりは、絵カードなど場面を提示し、教師が一人二役をしたほうがわかりやすくなります。
(例) A: すみません、渋谷まで行きたいです。
行き方がわかりません。渋谷までどうやって行きますか。
B: 電車に乗って、渋谷駅で降りてください。
A: はい、ありがとうございます。

コメントの追加 [u7]: 「渋谷」などの固有名詞は、ひらがなで書くよりも漢字で書いて、ルビをふった方がわかりやすいと思います。

コメントの追加 [u8]: この練習は、教師が学生に「_____までどうやって行きますか」と聞いて、答えてもらう練習ですか？
ペア練習にすると、「どうやって〜？」の質問の仕方と答え方の両方が練習でき、学生の発話も増えます。ペア練習の後は、何組かクラスで発表するのいいと思います。

例として、学校の近くのスーパーや駅など、学生みんなが知っている場所を挙げると、ペア練習が活性化します。

コメントの追加 [u9]: 「再来年」はまだ未習では？
2023年3月にした方がわかりやすいと思います。

コメントの追加 [u10]: 上の導入文の「学校が終わる」は「卒業する」の意味ですが、「卒業する」はまだ未習なので、使えません。そうすると、2つ目の導入文の「学校が終わってから」と同じになってしまうので、どちらかの導入を変更して、バリエーションを増やしたほうが良いです。